

Study

会員以外の方も参加できる 「自由参加型の学習会」を月1回開催 しています。お気軽にご参加ください。

2012年8月にスタートした「学習会」は、エネットまつもとの月1回の定例イベントとして定着しています。どなたでも無料で自由に参加できるアットホームな学習会です。ぜひ一度、見に来てみませんか。会場は「松本市市民活動サポートセンターの会議室」です。（開催時間は通常19：00～20：30）

下記は7月から2016年1月までの学習内容です。
※詳しい内容はホームページのレポートをご覧ください。

●7月（2015）

「環境と経済」～世界経済と地球環境、日本との関係を考える～

●8月

「霞沢川砂防ダムの問題」

●9月

「文明の衝突：文明と地球環境問題からみた世界と日中問題」

●10月

デジタル地球儀「触れる（さわれる）地球」～そのコンセプトとコンテンツ～

●11月

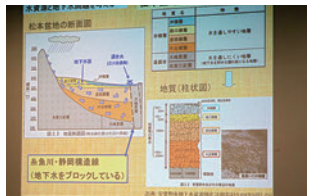
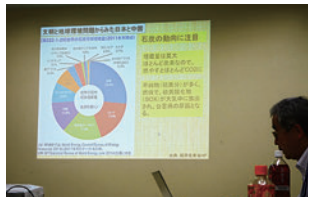
「世界と日本の水資源と地下水問題」～水資源と水質問題を考える～（世界の水から松本の水まで）

●12月

「地球温暖化問題の最新動向」～COP21をめぐって～

●1月（2016）

「木の文明」～日本の文化・文明を考える～



地域にあるものを活かすくらし

未来の子どもたちから「借りている地球や地域」を、良いかたちで返すため、自然豊かなこの地らしいエネルギーの地産地消をめざしてー。

私たちといっしょに「考え」「学び」そして「行動」しませんか。
会員募集中です

入会は個人登録制です。現在、約40名あまりの人が活動に参加しています。自然エネルギー関連の事業をされている方もいらっしゃいますが、多くの方は一般の市民の方々です。松本地域をはじめ、伊那、長野、諏訪からも参加されています。

入会の方法 ●年会費 2,000 円（入会金はありません）

ホームページの入会申込書（Word）を入手ください。

必要事項を入力（記入）後①電子メールで送付、または②プリントアウトしてFAXにて送付、あわせて指定口座に会費を入金してください。

入会後は、メールで情報をお届けします。各種会議・イベント・学習会へ自由に参加いただけます。

Workshop

地域エネルギーを考えるワークショップ から発展、松本市再生可能エネルギー 地産地消推進計画への提案

2015年3月の学習会がきっかけで始まった「地域エネルギーを考えるワークショップ」は、会員の前田仁さんが代表のさとやまエネルギー（株）と松本市環境政策課を中心に、信州大学、エネットまつもと、林業関係者、金融機関関係者などが参加。現地視察等も含め9回の勉強&意見交換会を開催しました。

さらに、10月からの3回はワークショップ参加者を中心に、松本市が推進する「松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画」への提案書づくりに取り組み、12月に松本市へ提出しました。



●活動内容・経過

各ワークショップテーマ

◎バイオマスあるいは再エネ事業への取り組み（3/24）

◎再生可能エネルギー政策と地域コミュニティ（5/7）

◎事業性と地域性が両立した再エネ事業（5/21）

◎資金調達と地域の経済活性化への貢献（6/4）

◎自治体と住民が取り組むべきことを考える（6/18）

◎現地視察【池田町ハーブ園・薪ボイラー、カミツレ研究所・チップボイラー】（7/16）

◎地域エネルギーを考える：安曇、奈川、四賀地区の取り組み（8/6）

◎視察結果をもとに、学習してきた地域・事業・資金調達・政策という観点からこれまでの学びを棚卸し（8/20）

◎安曇、奈川、四賀地区で取り組みたいこと（9/24）

「松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画」への提案書づくり

◎松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画

調査結果の共有（10/15）

提案内容の検討①（10/29）

提案内容の検討②（11/11）

提案書を市へ提出（12/23）



詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。



スマホでアクセス！

●イベントの情報は
ホームページの最新情報で
ご確認ください。

●過去のイベントの様子は
ホームページのレポートを
ご覧ください。



自然エネルギーネットまつもと

※エネットまつもと＝自然エネルギーネットまつもとの通称

自然エネルギーネットまつもと通信

action

Think together and action 007

2016年1月31日発行 第7号

お米の国のエコ燃料
「モミガライト」と出会い、
自分のチャレンジスピリットにも
火がつけました。

岡 賢昭さんを、山形村のモミガライト工場に訪ねた。まず出迎えてくれたのは、加工前のもみ殻が大量にストックしてある大型のビニールハウスだった。

もみ殻100％でつくる固形燃料モミガライトの製造販売を中心とした事業を起業したのは約1年前。奥様と二人三脚で、原料のもみ殻集めから製造・販売・営業に奮闘する日々の岡さん、笑顔がとて素敵な前向き40代だ！



大手メーカー時代に5年間赴任していたハンガリーでのスローライフが起業の最初のきっかけだったという。「家族と過ごしたハンガリーのゆったりとした時間の流れがとても気に入っていました。帰国後、赴任した安曇野にもハンガリーと同じものを感じて、ここで暮らしたいと思うようになりました」家族も気に入った松本市に、あこがれの薪ストーブのある家を建設。しかし、すぐに薪調達で苦心するように。そんなとき出会ったのが「モミガライト」だった。「もみ殻でこんなすばらしい燃料ができるんだ。自分的には結構衝撃的でした」そして、これをもっと普及させたいと考えるようになる。

そんな折、勤務先の工場の存続問題で、自らの進退の選択を迫られることとなる。そして、選んだのは退社、起業の道だった。「正直、子どもも小さいし再就職も含め半年間悩みました。ただ、新しいことを始めるには最後のチャンスだと思い、妻を説得。自分以上にリサイクルやエコに興味のあった妻が、理解してくれたことに感謝です」

2015年11月、モミガライト製造機メーカーの呼びかけで、全国の製造仲間が集まり「全国モミガライト普及協議会」が設立された。岡さんは、理事に就任し全国レベルでの普及にも尽力している。

薪ストーブユーザーも徐々にその魅力を理解しつつあり、『薪+モミガライト』での燃料確保を考える方も増えているようだ。“商品の良さ”と岡さんの“人柄の良さ”の相乗効果でモミガライトファンがますます広がっていくことに期待したい。

岡 賢昭さん

Takaaki Oka

1972年、東京都小金井市生まれ。幼少期から大学までを川崎市で過ごす。大学（環境情報学部）卒業後、大手電機メーカー（ソニー株式会社）に入社。事業計画を作成する部署に配属。フランス、ハンガリーの海外事業所に7年間勤務。フランス時代に結婚。2014年夏に退社後、モミガライト製造販売を中心とした事業を、山形村のきのこ生産工場の一角を借りてスタートする。現在、松本市内在住、小学生3児の父。

●モミガライト：再利用が難しいとされてきたもみ殻を、すり潰して圧縮し固形化する機器が開発されことで誕生。固形化するために接着剤や固着剤などは一切使用していない。もみ殻100％のエコ燃料だ。いろいろな用途で環境への悪影響の心配がなくて安心して使用できる。詳しくは「ハーロムアルマ」→<http://www.harom-alma.com/>

action people #4

人生の岐路で大きな決断をした岡さん。笑顔の素敵な行動力あふれる action people です。

「自然エネルギーネットまつもと」は、地域にあるものを活かすくらしを志し、エネルギーの地産地消を目指しています。

2015.6-2016.1_action ダイジェスト



自然エネルギーネットまつもと通信

action
007

※WS=ワークショップの略

地域防災力セミナーに出展

2015.8/27

松本地方事務所主催の「地域防災力セミナー」に出展

8月27日（木）午後、松本合同庁舎講堂で開催された松本地方事務所主催の「自助・共助で高める市域防災力セミナー～大地震に備える～」に、ロケットストーブをはじめとした災害時に役立つような自然エネルギーツールを持ち込んでの特別ブース出展で参加。非電化工房松本支部の赤羽さんにも協力をいただき、ソーラーフードドライヤー・クッカーやオフグリッドの小型ソーラー発電機器をあわせて展示しました。

セミナーに集まった、各地区、行政の防災担当のみなさんは、展示の自然エネルギーツールに興味津々。セミナーの休憩時間・終了時にはたくさんの質問が飛び交いました。「ロケットストーブのWSを兼ねた防災イベントをやりたい」という方もいらっしゃいました。



市民活動フェスタに出展

2015.10/3・4

市民活動フェスタ 2015 in 松本「ぼくらの学校」に出展

10月3日（土）・4日（日）、あがたの森文化会館で開かれた市民活動フェスタ2015 in 松本「ぼくらの学校」に3年連続で出展。

他のエコ・環境系グループのみなさんとともに、一室を借りて展示ブースを設営。会場に訪れるご家族、特に子どもたちに毎年人気なのは「発電エアロバイク」！発電体験を楽しむ子どもたちの笑顔が印象的でした。手作りギア好きなお父さんの興味はロケットストーブ。「作ってみたい」、「ワークショップはいつですか？」等の声も飛び交いました。エコな暮らしを思考するご家族にたくさん来場いただきました。



ロケットストーブ&ウッドガスストーブの普及活動

2015.10/24

ウッドガスストーブづくり講習会 in 茅野市「高原の都市エコフェスタ 2015」

10月24日（土）、茅野市民館で開催された「高原の都市エコフェスタ2015」の依頼で、ウッドガスストーブづくり講習会を開催。

ウッドガスストーブやロケットストーブの原理や構造の説明後に製作開始。同じテーブルの人たちと相談したり、助け合いながらの作業です。こういった工作は初めてという女性も何人かいましたが、初めてとは思えない手際で無事自分だけのウッドガスストーブを完成できました。

全員が完成したところで、ウッドガスストーブとロケットストーブの燃焼実演。ゆらゆらとやさしい二次燃焼の炎は、参加者のハートにも火をつけたのではないのでしょうか。「ロケットストーブもつくりたい！」の声がたくさん上がりました。



2015.11/15

ロケットストーブ作りWS in 茅野市

昨年から2回目となる茅野市の「アノニム・ギャラリー」でロケットストーブづくりワークショップを11月15日（日）に開催。11月にしては気温も高めで、屋外作業にはベストコンディション。

定員（6名）締め切り後も問い合わせが相次いだとのこと、ロケットストーブ人気は定着してきたようです。

不要となった竹で炭を焼いてみたいとのギャラリーオーナーのリクエストを受け、無煙炭化器を使っの竹炭作りも実演、短時間で煙も出さずに炭ができることに驚きの声が上がりました。



中学校での公開授業

2015.10/27

会田中学校公開授業「ぼくらのエネルギー・自然エネルギー」



10月27日（火）、松本市四賀地区の会田中学校で公開授業「ぼくらのエネルギー・自然エネルギー」を開催しました。

平成27年度『緑の募金公募事業 四賀の未来につなぐ里山事業』の一環として四賀林研グループ主催、自然エネルギーネットまつもと共催で昨年に引き続き2年目の開催です。

●授業内容

◎3名のエネット会員講師による聴講授業

- 1.「自然エネルギー入門」講師：宮澤 信（学習会 WG 代表）
- 2.「小水力発電について」講師：月岡 通孝（自然エネルギーネットまつもと副代表）
- 3.「ソーラーハウスに暮らす」講師：手塚 翼（太陽光 WG）

◎校舎裏と学有林に4つのブースを設けての実演体験授業

1. エアロバイク発電・マイクロ水力発電の体験ブース
2. ソーラーパワー体験ブース
3. 竹炭焼き体験・ロケットストーブ体験ブース
4. 薪作り体験ブース

1時限目、3名の講師から「宇宙船地球号的な考え方をもとにした持続可能な未来と自然エネルギーの取り組みの重要性」、「小水力発電の取り組みの実例」、「ソーラー発電機を使った簡単な実験



を交えたソーラーハウス」の話をたっぷり聞いた後、2時限目に校舎裏の学有林で自然エネルギーを使った機器や道具の実演体験。ここでしか見ることができない手作り機器の見学、ほとんどの生徒が初めてという薪割り体験、竹炭焼き体験、エアロバイク発電機での発電体験など、短時間でしたが生徒達にとっては記憶に残る授業になったと思います。

●開催概要

◎日時：2015年10月27日（火）13：30～15：30

◎対象者：松本市立会田中学校全校生徒107名及び一般参加者

◎参加費：無料

◎主催：四賀林研グループ

◎共催：自然エネルギーネットまつもと

◎協力団体：中信地区環境教育ネットワーク

◎後援：松本市、松本地方事務所林務課



「触れる地球」に興味津々

2015.11/19

デジタル地球儀「触れる地球」体験会 in 長野県環境保全協会中信支部総会



11月19日（木）、松本市で開催された（一社）長野県環境保全協会中信支部総会の講演会において、エネットまつもとと会員で地球温暖化防止活動推進員の宮澤信さんがデジタル地球儀「触れる（さわれる）地球」を紹介。参加者が実際に触ってその革新的な技術を体感しました。